

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00061 )

事務事業名称	すぎなみフェスタ			款	03	項	01	目	01	事業	008	整理番号	058
現担当課名	地域課	係名	地域係	連絡先電話番号	3762			昨年度整理番号	061				
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成25年度												
令和 5年度担当課名	地域課			事業評価区分	一般								

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	すぎなみフェスタ来場者 すぎなみフェスタ協賛者 すぎなみフェスタ連携イベント	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	すぎなみフェスタ実行委員会規約
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	「人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に」を基本理念に、すぎなみフェスタを開催する。すぎなみフェスタを中核に、他のイベントと連携しながら、杉並の魅力を外に発信し、地域社会・地域経済の活性化につなげる。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	すぎなみフェスタ開催  すぎなみフェスタ実行委員会・作業部会開催
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	すぎなみフェスタ実行委員会において、イベント内容を企画して実施する。 すぎなみフェスタ実行委員会に事業共催分担金を支出する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	すぎなみフェスタへの来場者 2日間の延べ来場者数【区民】 すぎなみフェスタへの協賛金額 すぎなみフェスタへの企業・団体・個人の協賛金合計額【社会】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	0	1	1	1	1	1	100.0	100.0
活動指標 ( 2 )	2 回	4	4	4	4	4	9	100.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	0	100,000	95,000	100,000	105,000	100,000	105.0	
成果指標 ( 2 )	4 千円	0	6,000	6,192	6,000	6,120	6,000	102.0	
事業費	5 千円	645	10,000	10,000	9,000	9,000	8,550	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	13,182	12,515	13,059	12,477	12,891	10,045	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	13,827	22,515	23,059	21,477	21,891	18,595		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	13,827	22,515	23,059	21,477	21,891	18,595		

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 058

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	すぎなみフェスタ実行委員会へ事業共催分担金の支出	1	回	9,000
	すぎなみフェスタ実行委員会の開催	4	回	0
	その他 ( )			
取組成果	<p>10回目となったすぎなみフェスタ2023は、コロナ明け最初のフェスタで2日間で10万5千人の来場者を迎えて開催いたしました。</p> <p>当日は、交流自治体の物産展、連携イベントの杉並区農業祭など多くの出店があり、また、ステージでは、台湾戯曲学院による公演、阿波踊りなど、様々なプログラムが披露され、杉並の魅力と交流自治体等の魅力を多くの区民に発信することができました。また、ディッシュリユースの試行などにより、来場者に環境配慮のメッセージを伝えることができました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>すぎなみフェスタ2023の来場者は、目標であった10万人と比較して5千人増の10万5千人となり、目標を超え、盛況のうちに終了いたしました。また、協賛金額は目標の600万円に対して、612万円と目標額を上回る協賛を得ることができました。</p> <p>今後、区内最大イベントとして多くの来場者のあるフェスタをより区民主体のまつりとしていくよう取り組んでいくとともに、フェスタにおける環境配慮行動についても引き続き実施することで、区民意識の醸成を図っていく必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>5月に行われました第1回実行委員会ですすぎなみフェスタ2024は11月9日(土)・10日(日)の2日間、場所は桃井原っぱ公園で開催することを決定いたしました。催し内容は、環境配慮行動の推進もテーマに誰でも楽しめるイベントを目指し、交流自治体の紹介、おいしいもの、遊び・体験ができるコーナーやダンスパフォーマンス・演奏等が楽しめるステージプログラム、区民意見を反映したイベントの実施を計画しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>フェスタは実行委員会を中心に企画・運営等を行っていましたが、区民がフェスタの企画に関われるよう、今年度は公募した区民委員を中心とした作業部会を実行委員会の下部組織として設置しました。作業部会で一部のイベントの内容を企画・提案し、当日のイベントに反映いたします。</p> <p>また、今後は来場者に環境配慮行動を理解していただくため、マイバッグの持参、プラスチックの削減の必要性等、イベントの中でより強くメッセージとして伝えられるようにしていきます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>区民からの意見を反映したイベントや環境配慮の取組を充実させるなどの拡充要素はありますが、一部実施内容の見直し等により、コストの抑制を図ります。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 0065 )

事務事業名称	平和事業の推進			款	03	項	01	目	01	事業	012	整理番号	062
現担当課名	区民生活部管理課		係名	庶務係		連絡先電話番号	3753		昨年度整理番号	065			
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度	実行計画事業	目標	08	施策	27	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	区民生活部管理課							事業評価区分	一般				

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区民、関係団体、民間団体	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	杉並区平和都市宣言
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民一人ひとりが、平和都市宣言の趣旨を理解し、戦争の悲惨さや平和の尊さに対する認識を深め、世界の恒久平和に寄与する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	平和のつどい開催日数  平和のためのポスターコンクール応募校数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	平和に関するパネル展示など、平和のつどいを実施する。 区内小中学校の児童・生徒を対象にした平和のためのポスターコンクールを実施する。 区内の中学生を広島に派遣し、平和について学び伝える平和学習中学生派遣事業を実施する。 北朝鮮拉致問題に係る啓発を行う。 関係団体と協働で平和事業を実施するなど、平和意識の啓発を図る。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	平和のつどいへの参加者数 【行政】 平和のためのポスターコンクール応募者数 【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 日	15	15	33	15	39	27	260.0	84.8
活動指標 ( 2 )	2 校	20	25	25	25	28	25	112.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	1,310	1,000	1,650	1,000	1,800	1,250	180.0	
成果指標 ( 2 )	4 人	545	1,000	712	1,000	676	1,000	67.6	
事業費	5 千円	2,606	7,875	6,499	8,315	7,054	8,098	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	12,932	25,029	27,948	16,636	18,332	16,742	執行残の主な理由 広島平和学習中学生派遣事業における、予算額 (予定価格) と入札後の契約金額とに差額が生じたため、その分が予算の執行残となりました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	15,538	32,904	34,447	24,951	25,386	24,840		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	15,538	32,904	34,447	24,951	25,386	24,840	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 062

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	平和のつどい (8月・3月) の開催・平和都市宣言35周年記念事業	2	回	1,606
	平和のためのポスターコンクールの実施	1	回	822
	平和共催事業への補助	3	回	500
	平和首長会議 (広島平和学習中学生派遣事業)	1	回	3,940
	その他 (日本非核宣言自治体協議会分担金、北朝鮮拉致問題啓発ほか )			186
取組成果	<p>平和のつどいでは、8月に被爆を題材とした漫画「あの日、ヒロシマで」のイラストや写真、3月にはウクライナから避難している子供たちが描いた絵画等の展示を行いました。杉並区平和都市宣言35周年記念事業として、25周年記念事業の際に寄せられた平和メッセージを活用したパネルを制作し、平和のつどいや、スギナミ・ウェブ・ミュージアム等での展示により、広く平和都市杉並を発信しました。ポスターコンクールでは、28校676人の応募がありました。広島平和派遣事業では、29人の派遣生が被爆地・広島で式典の参列や平和施設の見学等、精力的な活動を行いました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>ロシアとウクライナの紛争は3年目に入り、昨年10月にはハマスの攻撃をきっかけとして、イスラエルからガザ地区への侵攻も始まりました。北朝鮮のミサイル発射実験も散発的に行われています。このような世界情勢の中で、戦争への危惧・不安は高まっていますが、一方で、第二次大戦後80年近くが経過し、戦争体験者が減少する中、戦争や平和への関心は次第に薄くなりつつあります。戦争の記憶を風化させないためにも、どのように戦争体験や被爆の体験を語り継いで行くかが課題となっています。併せて、次世代の平和を希求する心を育む取組も進めていく必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>平和のつどいでは、第五福竜丸をはじめとした日本のマグロ漁船が水爆実験で被ばくした、いわゆる「ビキニ事件」から今年で70年となることを鑑み、都立第五福竜丸展示館より借用した写真パネル・現物資料などを、7月29日から8月9日まで区民ギャラリーにおいて展示しました。広島平和学習中学生派遣事業については、24人の派遣生が、8月5日から7日の日程で被爆地・広島を訪問し、広島平和記念資料館の見学や、被爆者の証言講話の聴講などで被爆の実相を学びつつ、平和記念式典に参列するなど、現地で精力的に活動を行いました。被爆者証言記録映像制作については、今年度は撮影のみとし、11月に被爆者と広島平和学習派遣生との対談形式で撮影を行う予定です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>戦争体験者が減少する中、戦争や平和への関心は次第に薄くなりつつあります。戦争の記憶を風化させないためにも、どのように戦争体験や被爆の体験を語り継いで行くかが課題となっています。併せて、次世代の平和を希求する心を育む取り組みも進めていく必要があります。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和7年度の平和学習中学生派遣事業は、平和首長会議総会が長崎で開催されることから、派遣先を長崎とします。今年度から派遣生を2割ほど減員し、コストの縮減に努めていますが、現地との往復が空路となることなどにより経費上昇となるため、短期的に事業コストは拡充となる見込みです。来年度の平和のつどいは、戦後80年の記念事業として、広島市と共催で特別に資料等を借り受けて展示会を開催、併せて広島在住の被爆者の講演会を予定するなど、つどい開催に係る経費も増額を見込みます。さらに、80年記念事業の一つとして、(仮称)平和マップの制作に取り組むため、必要な経費を予算に見積ります。また、区内在住の被爆者の高齢化が進み、被爆体験の語り継ぎが難しくなることから、今年度、区において被爆者証言記録映像の撮影を行い、令和7年度には、撮影した映像データの編集作業を経て、記録映像を完成させる予定であり、編集業務の委託経費を予算に計上します。完成後の映像は、戦後80年の記念事業などで公開します。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00675 )

事務事業名称	お試し移住支援			款	03	項	01	目	01	事業	015	整理番号	065
現担当課名	文化・交流課		係名	交流推進担当			連絡先電話番号	3772		昨年度整理番号	068		
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標	08	施策	27	計画事業	03					
令和 5年度担当課名	文化・交流課							事業評価区分	一般				

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象 区民	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	まち・ひと・しごと創生法 (平成26年法律第136号)
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 地方での暮らしに関心がある区民を対象に交流自治体等の情報提供及び参加・利用の支援	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	お試し移住事業セミナー等開催回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) お試し移住を希望する区民に対する事業セミナー等 (現地見学会及び現地ツアー含む) を実施する。チラシやポスター等の広報媒体を作成し、お試し移住先のPRを実施する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	お試し移住事業セミナー等参加者数 お試し移住事業に関するセミナー等 (現地見学会及び現地ツアー含む) への参加者数【行政】 お試し移住事業利用者数 お試し移住事業を利用した区民の数【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	2	3	4	4	4	4	100.0	89.0
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3 人	54	60	82	70	62	70	88.6	
成果指標 ( 2 )	4 人	26	60	36	60	36	60	60.0	
事業費	5 千円	244	434	274	409	364	0	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,251	1,251	1,248	2,495	2,511	2,511	オンライン開催を想定していたセミナーが対面開催となり、機材準備費が減ったために予算執行率が低くなりました。前年度に新型コロナウイルスの感染拡大で中止になった活動が今年度再開したため、昨年度と比較して実績が高くなっています。なお、当事業は令和6年度から多文化共生・国内外交流の推進に統合となったため、指標値以外0としています。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	1,495	1,685	1,522	2,904	2,875	2,511		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	1,495	1,685	1,522	2,904	2,875	2,511	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 065

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	お試し移住事業セミナーの開催	4	回	215
	お試し移住チラシ、ポスター等の作成	1	回	65
	その他 ( 郵券の購入等 )			84
取組成果	<p>南伊豆町の「お試し移住事業」のPRを行うセミナー ( 令和5年6月25日、参加者19名 ) を区役所で開催しました。また、地方での暮らしに関心がある区民への情報提供等を目的とした、南伊豆町現地見学ツアー ( 令和6年2月17日～18日の1泊2日、参加者数9名 ) を開催しました。</p> <p>農業と自然を身近に楽しむ施設「小千谷市のクラインガルテンふれあいの里」や南伊豆町の「お試し移住事業」、北塩原村での二拠点生活のPRを行うセミナー ( 令和5年2月3日、参加者14名 ) において「関係人口」という新しい地方との関わり方への理解を深める機会を提供しました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>「お試し移住事業」については、令和4年度のコロナ禍では、都心での生活が見直され、地方暮らし・移住に注目が集まったため、一定の参加者数を確保出来ました。</p> <p>一方で、コロナ禍があげた令和5年度においては、テレワークも少なくなるなど、以前の生活スタイルに戻りつつあるため、計画を下回る参加者となりました。</p> <p>今後、事業を継続していくに当たっては、参加者の利便性を考慮し、事前セミナーをオンラインで開催する、現地での説明についても体験を主とするなど、区民目線で事業内容の見直しを行い参加者の確保を目指していきます。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>令和6年6月に南伊豆町お試し移住セミナーを開催し24名の参加がありました。セミナーには同町にお試し移住経験のある2名をゲストに迎え、町での過ごし方や医療体制等について紹介しました。参加者からは多くの質問が寄せられるなど、関係人口の創出に寄与することが出来た催しとなりました。</p> <p>今後は新潟県小千谷市や福島県北塩原村とも連携しながら、観光以上、移住未滿の過ごし方を視点としたセミナーを開催していきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>コロナ禍でメディアがワーケーションや移住を取り上げ、二拠点生活が脚光を浴びる中、令和5年度からは、これまでの新潟県小千谷市のクラインガルテン、静岡県南伊豆町のお試し移住に福島県北塩原村が加わり、区民に新たな選択肢が生まれました。</p> <p>区民の関心も高まっていることから、今後も交流自治体と連携し関係人口の創出に取り組んでいきます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 ) ・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>人口減・高齢化という課題に直面する中で、杉並区と交流自治体が一体となり、それぞれの特徴を活かし交流を進めることで、引き続き、地方創生 ( = 関係人口の創出 ) に取り組んでいきます。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00715 )

事務事業名称	地方創生の推進				款	03	項	01	目	01	事業	017	整理番号	066
現担当課名	文化・交流課		係名	交流推進担当		連絡先電話番号	3772			昨年度整理番号	069			
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標	08	施策	27	計画事業	03						
令和 5年度担当課名	文化・交流課								事業評価区分	一般				

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区民、交流自治体	根拠法令等	( 1 ) ( 2 )	まち・ひと・しごと創生法 (平成26年法律第136号)
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区と交流自治体が互いに活性化する新しい人の流れの創出 都市部と地方の共存共栄 区の将来における人口減少の克服	活動指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	地方創生・交流自治体連携フォーラム開催回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	地方創生・交流自治体連携フォーラムを開催する 。 交流自治体との新たな連携による事業を推進する 。 特別区全国連携プロジェクトを推進する。	指標説明	成果指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	0	1	1	1	1	0	100.0	83.3
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	297	1,419	743	1,418	1,181	0	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,838	2,920	3,909	5,823	6,362	5,860	地方創生・交流自治体連携フォーラムの講師が2名から1名減となったため、予算執行率が低くなりました。前年度に新型コロナウイルスの感染拡大で中止になった活動が今年度再開したため、昨年度と比較して実績が高くなっています。また、令和6年度は事務事業名称：多文化共生・国内外交流の推進に統合となったため、事業計画費0円となっています。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	4,135	4,339	4,652	7,241	7,543	5,860		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	4,135	4,339	4,652	7,241	7,543	5,860	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 066

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	第八回地方創生・交流自治体連携フォーラムの開催	1	回	314
	区民ライターを活用した交流自治体情報発信	1	回	277
	交流自治体への出張 ( 第八回開催地下見等2回、第九回開催地下見1回等 )	1	回	341
	その他 ( 郵券の購入等 )			249
取組成果	<p>第八回地方創生・交流自治体連携フォーラム ( 令和5年5月20日 ) を山梨県忍野村で開催し「自治体間連携による地域価値の洗練と関係人口の拡大」について討議しました。</p> <p>また、区民ライターを活用した交流自治体の情報発信事業では北海道名寄市を取り上げ、その魅力やすぎなみ学倶楽部のWEBサイトを通じて発信しました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>地方創生・交流自治体連携フォーラムは、交流自治体が連携し、共に輝く地方創生の実現を目的として、平成27年7月に北海道名寄市で始まりました。第八回となった今回は山梨県忍野村での開催となり、「自治体間連携による地域価値の洗練と関係人口の拡大」をテーマに話し合いを行いました。残り1自治体で一巡となるため、今後の事業スキームが課題となっています。特別区全国連携プロジェクトは、特別区と全国各地域の経済活性化や絆の強化を図っているものです。今年度は被災地支援を通じた全国連携に関する講演会に2回参加しました。今後はさらに同プロジェクトのホームページを活用し、交流自治体の物産展やすぎなみフェスタ等のイベントのPRを積極的に行っていきます。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>令和6年5月に群馬県東吾妻町で第九回地方創生・交流自治体連携フォーラムを開催しました。フォーラムでは「交流・連携による応援・受援体制について」の講演及び「災害時の自治体間連携」をテーマに首長同士による活発な討議が行われ、災害時における自治体間の連携を再確認しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>地方創生・交流自治体連携フォーラムは、第九回をもって全ての参加自治体で開催されました。今後の在り方を検討する中で、「首長間で顔の見える交流を続けていきたい」との提案があったため、来年度からはフォーラムに代わる新しい会合の場を設け、首長間で行政課題の共有を図るなど、引き続き連携を取り合っていきます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>地方創生・交流自治体連携フォーラムに代わる首長同士の討議の場を令和7年7月に北海道名寄市で開催予定です。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00068 )

事務事業名称	文化・芸術の振興	款	03	項	01	目	02	事業	001	整理番号	068
現担当課名	文化・交流課	係名	文化振興担当係					連絡先電話番号	3782	昨年度整理番号	071
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進							予算事業区分	既定事業		
事業開始	実行計画事業 目標 08 施策 27 計画事業 02						主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	文化・交流課							事業評価区分	一般		

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区民、文化・芸術団体	根拠法令等	( 1 ) 杉並区と日本フィルハーモニー交響楽団との相互協力に関する覚書 ( 2 ) 杉並区文化芸術活動助成金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発に行われている。	活動指標	日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の実施回数 【行政】 文化芸術活動助成金事業件数 【行政】
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	日本フィルハーモニー交響楽団友好提携事業、区民ギャラリーの活用（企画展や区民貸出し）等を中心とした文化・芸術事業を実施する。 区民や区内団体が行う文化・芸術活動について、助成金等を通して支援する。	成果指標	日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の参加者数 【行政】 文化芸術活動助成金事業の参加者数 【社会】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)			
活動指標 ( 1 )	1 回	35	39	38	38	37	36	97.4	91.9			
活動指標 ( 2 )	2 件	76	50	50	25	23	35	92.0				
成果指標 ( 1 )	3 人	8,428	9,700	9,244	8,960	9,467	8,960	105.7				
成果指標 ( 2 )	4 人	73,348	30,000	83,663	37,500	72,132	45,000	192.4				
事業費	5 千円	95,409	66,379	62,350	56,138	51,592	56,370	特記事項				
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	33,706	33,372	35,851	24,954	20,174	25,113	令和4年度は、文化・芸術活動の助成を新型コロナウイルス感染症の克服に向けた支援として2期50件（予算規模20,000千円）で実施しましたが、令和5年度は1期25件（予算規模10,000千円）で実施したため事業費が前年度より減少しています			
	上記以外の職員	7 千円	11,025	11,025	11,034	11,034	11,421	11,421				
総事業費 (5+6+7)	8 千円	140,140	110,776	109,235	92,126	83,187	92,904					
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0				
	国・都からの補助金	10 千円	7,000	0	18,000	0	0	0				
	その他の補助金等	11 千円	1,253	0	0	0	0	0				
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	8,253	0	18,000	0	0	0				
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	131,887	110,776	91,235	92,126	83,187	92,904					

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 068

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	文化・芸術活動の支援の実施	23	件	8,791
	日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業の実施	37	回	17,212
	杉並公会堂利用料の支出 (延べ日数)	58	日	12,230
	スギナミ・ウェブ・ミュージアムの運営・発信			2,000
	その他 (協働事業の実施、情報紙の発行ほか)			11,359
取組成果	<p>文化・芸術活動の支援として、区民や区内に拠点を持つ団体の文化・芸術活動23件に対し助成を行った結果、72,132人が助成事業を鑑賞し、区民等が気軽に文化・芸術に親しむ機会を創出できました。区立小中学校への出張音楽教室等の日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業は37回実施しました。そのうち実行委員会形式のオーケストラコンサートは全公演(4回)のチケットが完売し4,084人が鑑賞しました。仮想美術館「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」においては、杉並の芸術家である棟方志功氏や鈴木信太郎氏の作品を加え展示の充実を図りました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>令和5年度文化芸術活動助成金は、承認件数25件( )に対し約3倍である73件の応募がありました。想定を上回る応募件数の増は、コロナ禍において文化芸術活動を支援した取組が実を結んでいると総括しています。応募状況や助成金の活用実績を注視しつつ、文化・芸術振興審議会において、助成事業の件数や金額等を検討することが必要です。</p> <p>承認件数25件のうち2件事業中止があり、助成件数は23件です。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>区民が身近に文化・芸術に触れる機会である、文化芸術活動助成金事業や日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業は、1公演当たりの参加者数が令和4年度より増加しました。</p> <p>一方で、区民が文化・芸術を創造し発表する場として、スギナミ・ウェブ・ミュージアムがありますが、区民展示の申込や、閲覧数が伸びていないことから、更なる周知の強化が必要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年度から始めた若手アーティスト文化芸術活動助成(事業費200万円)は29件の応募があり、10件を承認しました。また、文化芸術活動助成金事業(事業費1,000万円)は68件の応募があり25件を承認しました。</p> <p>日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携30周年記念したロビーコンサートを開催し、区民等239名が来場しました。また友好提携事業への参加促進のため、事業に関する展示を行いました。</p> <p>スギナミ・ウェブ・ミュージアムは、常設展の作家の作品を専門家の解説付きで鑑賞するオンラインツアーを2回開催し108人が参加しました。また、郷土博物館と連携しリアルとウェブを融合した企画展も新たに開催しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>文化・芸術活動の支援については、助成金の申請件数や活用実績を注視しながら今後の制度を文化・芸術振興審議会において審議していきます。</p> <p>日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携事業については、杉並公会堂を中心に区民等が文化・芸術に親しめる演奏会等を実施していきます。</p> <p>また、スギナミ・ウェブ・ミュージアムについては、NP 法人との協働により、今後も区にゆかりのある芸術家を取りあげ、より魅力ある展示を多くの方に見ていただけるよう取り組みます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	現時点では、令和6年度予算と同規模の事業費等により、文化・芸術の振興を図っていく考えです。	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00069 )

事務事業名称	国際・国内交流の推進				款	03	項	01	目	02	事業	002	整理番号	069	
現担当課名	文化・交流課		係名	交流推進担当係		連絡先電話番号	3786		昨年度整理番号	072					
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成元年度	実行計画事業	目標	08	施策	27	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 5年度担当課名	文化・交流課								事業評価区分	一般					

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区内在住、在勤、在学	根拠法令等	( 1 ) 国内友好都市（名寄市・東吾妻町）との交流協定 ( 2 ) 国外友好都市（ウイロビー市・瑞草区）との交流協定
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	国内外の交流自治体と教育・文化・スポーツ等の多様な分野を通じて交流の輪を広げる。区民・市民同士の交流を進め、友好親善を深める。多文化共生社会の実現に向け、相互理解を深める。	活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ）	国際交流事業数  国内交流事業数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	交流自治体「北海道名寄市、群馬県東吾妻町、ウイロビー市（オーストラリア）、ソウル市瑞草区（大韓民国）等」の代表団の受入れ、区代表団の派遣を行う。 交流自治体が区民を対象に行う生産物即売等各種事業の支援を行う。 他課・他団体が行う交流事業への支援を行う。	指標説明 成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	国際交流事業参加者数  【行政】 国内交流事業参加者数  【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	17	15	12	15	18	15	120.0	60.1
活動指標 ( 2 )	2 人	17	20	67	80	99	90	123.8	
成果指標 ( 1 )	3 人	1,361	1,000	1,221	1,500	2,434	2,000	162.3	
成果指標 ( 2 )	4 人	510	3,000	1,228	3,000	2,558	3,000	85.3	
事業費	5 千円	5,459	25,272	9,957	33,917	20,396	31,841	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	22,276	20,858	22,459	20,795	16,742	25,113	令和4年度はコロナ禍で事業の中止等がありましたが、令和5年度は計画どおり事業を実施したことから事業費は前年度比105%増となりました。一方で、杉並区交流協会による都補助金・協賛金の獲得等により分担金の戻入があったため、予算執行率は低くなりました。
	上記以外の職員	7 千円	3,675	3,675	3,678	3,678	5,406	7,614	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	31,410	49,805	36,094	58,390	42,544	64,568		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	31,410	49,805	36,094	58,390	42,544	64,568	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 069

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	国内外交流事業(杉並区交流協会共催分)	3	件	11,323
	交流自治体情報紙「てくてく」の発行	2	回	3,048
	国内外交流自治体への代表訪問団の派遣	10	回	1,842
	日本語教育推進事業(杉並区交流協会共催)	1	件	2,399
	その他(国内外交流事業ほか)			1,784
取組成果	<p>交流自治体の特産品等を販売する物産展(43回)や写真展(9回)、東京高円寺阿波おどり台湾公演等、計画(95回)を上回る国内外交流事業(117回)を実施しました。交流自治体への観光を促進することを目的とした情報紙「てくてく」では、各交流自治体でのレジャーや温泉施設などを特集しました。また、日本語教育推進事業では、杉並区交流協会及び教育委員会と連携し、区内在住の帰国・外国人児童生徒を対象とした子ども日本語教室を小学生向け77回、中学生向け83回実施しました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>国内10自治体(名寄市、東吾妻町、小千谷市、北塩原村、南相馬市、青梅市、武蔵野市、忍野村、南伊豆町、小笠原村)、海外3都市(オーストラリア連邦ウィロビー市、大韓民国ソウル特別市瑞草区、台湾台北市)、2国(ウズベキスタン共和国、パキスタン共和国)と文化、スポーツ等を通じた交流を深めています。</p> <p>交流自治体等と連携しながら積極的に事業を実施した結果、国際交流事業参加者数は前年度比99%増の2,434人(目標値比162%)、国内交流事業参加者数は前年度比108%増の2,558人(目標値比85%)となり、コロナ禍前の水準(平成30年度4,707人)に回復しました。環境が好転したこの機に、区民ニーズを捉えながら住民同士の交流事業を発展させ、交流自治体との関係を深化していきます。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>日本語教育推進事業では、外国人等児童・生徒を対象とした子ども日本語教室に小学生28人・中学生16人が受講しました。また、子どもの日本語学習を支えるボランティアの養成講座(全10回)には、定員25人のところ120人を超す応募があり、区民32人が受講しました。更に、同教室では、交流自治体の忍野村と連携した野菜収穫体験教室や保護者向けの相談会を実施するなど、学習・交流・相談に取り組みました。在住外国人数が増加の一途を辿る中、大人を対象とした日本語教室においては日本語がゼロベースの来日者が増え、小学生向けの教室においては定員(20人)を上回る応募があるなど、新たな課題が上がっています。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込含む)	<p>国内交流事業では、当初の計画(31回)を上回る回数 of 交流自治体観光物産展を実施する予定です。また、交流自治体の魅力を発信する情報紙では、5月にカフェをテーマに12.3万部発行しました。国際交流事業では、杉並とウィロビーの中学生の文通事業に39人が参加し、3回実施する予定です。また、10月に実施する台湾の中学生を対象としたホームビジット事業では、区内14家庭の協力を得ることができました。</p> <p>多文化共生基本方針については、杉並区多文化共生推進懇談会を設置するとともに区民や区内活動団体を通じたアンケートやヒアリングを行い、今年度末までに策定します。なお、在住外国人支援事業は、杉並区交流協会助成の欄に記載します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>国内外交流自治体と顔の見える関係を構築し、互いが持つ地域の魅力を活用しながら共に発展していく必要があります。そのためにも文化・スポーツ・教育などの分野で連携しながら事業を実施していきます。また、令和7年度にはオーストラリアウィロビー市と、令和8年度には韓国瑞草区との交流がそれぞれ35周年を迎えることから、この間の交流を振り返り、時代に即した交流の在り方を検討していきます。</p> <p>多文化共生推進事業については、杉並区多文化共生基本方針の策定に合わせ、外国人支援事業の拡充や多文化共生拠点の整備を通して、方針で掲げる目標達成のため、他部署と連携を図りながら事業を実施していきます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>国内交流事業は、行政間の交流を市民間にも広げていくため、区民にニーズの高い観光物産展を地域イベント等に合わせて開催できるよう取り組みます。また、交流自治体情報紙は、紙媒体のみならずホームページ等を活用した配信を強化し、より多くの区民に交流自治体の魅力を発信していきます。また、国際交流事業は、5回目を数える東京高円寺阿波おどり台湾公演の実施や、友好都市協定35周年を迎えるウィロビー市との行政課題解決に繋がる仕組みづくりを目指していきます。</p> <p>多文化共生推進事業は、杉並区多文化共生基本方針に基づき、やさしい日本語の普及・啓発をはじめとした多文化共生意識の啓発・醸成、子ども日本語教室などのコミュニケーション支援、安全・安心な生活の確保を目指した生活支援、相談機能や交流機能を有した多文化共生拠点の整備等を進めます。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00070 )

事務事業名称	杉並区交流協会助成	款	03	項	01	目	02	事業	003	整理番号	070	
現担当課名	文化・交流課	係名	交流推進担当係			連絡先電話番号	3785		昨年度整理番号	073		
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進						予算事業区分	既定事業				
事業開始							主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 5年度担当課名	文化・交流課						事業評価区分	一般				

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象 区民、交流団体	根拠法令等 ( 1 ) 杉並区一般財団法人に対する助成に関する条例 ( 2 ) 杉並区一般財団法人に対する助成に関する条例施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 在住外国人の支援や異文化理解を通じて、多文化共生社会を構築する。 国内交流において、区民・市民同士の交流が活発に行われている。	活動指標 指標名 ( 1 ) 在住外国人支援事業回数 指標説明 指標名 ( 2 ) 多文化共生社会の相互理解向上事業回数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） 一般財団法人杉並区交流協会に対し、交流事業が円滑に行えるように補助金を交付する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 在住外国人支援事業参加者数 指標説明 【行政】 指標名 ( 2 ) 多文化共生社会の相互理解向上事業参加者数 指標説明 【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	6	7	7	7	7	5	100.0	93.2
活動指標 ( 2 )	2 人	4	5	4	3	3	3	100.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	634	700	765	800	1,030	840	128.8	
成果指標 ( 2 )	4 人	2,441	2,690	2,801	2,600	105,724	2,600	66.3	
事業費	5 千円	49,129	52,354	48,681	53,220	49,603	55,705	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	4,172	4,172	4,159	4,159	4,186	4,186	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	53,301	56,526	52,840	57,379	53,789	59,891		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	53,301	56,526	52,840	57,379	53,789	59,891	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 070

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	杉並区交流協会助成	1	件	49,603
	その他 ( )			
取組成果	<p>一般財団法人杉並区交流協会は、外国人相談等の在住外国人支援事業、外国人による日本語スピーチ大会等の多文化共生社会の相互理解の向上に向けた事業、高円寺阿波おどりを交流自治体へ派遣する等の国内外自治体交流の促進事業に取り組みました。また、区役所1階「コミュかるショップ」の運営事業では、交流自治体の特産品を販売するなど交流自治体の魅力を広く発信しました。区は、杉並区交流協会への補助を通して、多文化共生の推進や自治体交流の促進に取り組んでいます。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>在住外国人支援事業では、新たに在住外国人が区内の神社や図書館などをめぐる「杉並さんぽ」等を実施し、前年度比35%増の1,030人(目標値比129%)の参加がありました。また、多文化共生社会の相互理解促進事業では、台湾の歴史・文化を体験することができる「まるごと台湾フェア」をすぎなみフェスタと合同開催し、2日間で10万人を超える来場がありました。</p> <p>ウクライナ避難民への支援では、緊急支援寄附金の募金活動(約128万円)を行い、集まった寄附金を活用して渡航費や生活支援一時金等を支給(約81万円)しました。また、1月の能登半島地震の支援として、石川県能登半島地域にある道の駅の商品を販売し、被災地支援に取り組みました。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>令和6年5月1日現在で、区内在住外国人は20,543人(人口割合3.6%)と前年度比で2,796人増加しており、今後も増加が見込まれます。</p> <p>このような状況下での課題として、多様な文化を認め合い、誰もが活躍でき、いきいきと暮らせる地域社会づくりに向けて、令和5年1月から杉並区交流協会が区と教育委員会とともに開校した「子ども日本語教室」の安定的な運営場所として多文化共生拠点の整備や、「やさしい日本語」の区民や職員への普及、受け取り側の立場に立った情報発信の強化等の取組を進めていく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込含む)	<p>在住外国人支援事業として、外国人サポートデスク(4~7月相談件数:216件)、消防署と連携して実施した防災体験(63人参加)、在住外国人等に向けた協会ニュースの発行(4・7月各5,000部)等を実施しました。また、子ども日本語教室は、小学生に対して週2回、区民ボランティアとともに実施し、25人が参加しています。多文化共生に向けた相互理解促進事業においては、8月にカナダをテーマとした国際理解講座を実施しました。また、11月に台湾の食・歴史・文化を紹介・体験する事業「まるごと台湾フェア」、3月には外国人による日本語スピーチ大会を実施します。</p> <p>ウクライナ避難民支援では、緊急支援寄附金を活用して5人に対して緊急一時金など292,534円を支給しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>区内の在住外国人は今後も増加する見込みであり、在住外国人が地域の一員として安心して暮らしていくことができる環境の整備が必要です。そのため、杉並区交流協会と連携して子ども日本語教室等の在住外国人支援事業の充実・発展を図るとともに、令和6年度に策定予定の多文化共生基本方針に基づく事業を実施するなど、多文化共生社会の実現に向けた取組を一層推進します。</p> <p>また、ウクライナ避難民への支援については、寄附金残高の推移を見つつ、避難民の方に寄り添い、ニーズに合った支援を継続して実施していきます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>在住外国人が前年度比17%増加する中で、区では、区民一人一人の人権尊重を基本として、国籍や民族などの異なる人々が、互いに文化的な違いを認め合い、協力して豊かな地域にしていくことを目指していきます。そのため、多文化共生基本方針に基づき、杉並区交流協会とともに在住外国人支援事業等の事業に取り組んでいきます。</p> <p>また、同協会と連携して、交流自治体への阿波おどり訪問団派遣や交流自治体の特産品などを取り扱うコミュかるショップの運営等、各交流自治体の地域特性を生かした交流事業を推進していきます。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00073 )

事務事業名称	杉並芸術会館の維持管理				款	03	項	01	目	03	事業	003	整理番号	073	
現担当課名	文化・交流課		係名	文化振興担当係		連絡先電話番号	3782		昨年度整理番号	076					
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成15年度	実行計画事業	目標	08	施策	27	計画事業	01							
令和 5年度担当課名	文化・交流課								事業評価区分	一般					

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	文化・芸術活動を行う区民及び関係団体等	根拠法令等	( 1 ) 杉並区立杉並芸術会館条例 ( 2 ) 杉並区立杉並芸術会館条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	演劇、舞踊等の舞台芸術の創造及び発信並びに区民の文化活動の拠点として、芸術文化の振興を図る。区民との協働により施設を運営し、地域のにぎわいの創出など、地域の振興を図る。	活動指標	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の貸出し回数 = 総利用数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	協定に基づく指定管理業務を実施する。芸術監督を設置し、芸術文化普及振興事業を計画・実施する。運営懇談会にて、芸術文化普及振興事業や施設の運営管理についての評価意見を求める。	指標説明	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の貸出し回数 = 総利用数
		指標名 ( 2 )	芸術文化普及振興事業の実施延べ回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	協定に基づく指定管理業務を実施する。芸術監督を設置し、芸術文化普及振興事業を計画・実施する。運営懇談会にて、芸術文化普及振興事業や施設の運営管理についての評価意見を求める。	成果指標	ホール利用率
		指標名 ( 1 )	ホール(座・高円寺2、阿波おどりホール)の総利用数 ÷ 稼働可能数【行政】
		指標名 ( 2 )	芸術文化普及振興事業への参加者数
		指標説明	公演事業の年間延べ観客動員数+教育的事業への年間延べ参加人数【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	1,388	1,800	1,482	1,800	1,537	1,800	85.4	99.5
活動指標 ( 2 )	2 回	307	400	446	450	457	460	101.6	
成果指標 ( 1 )	3 %	68	75	76	80	78	80	97.5	
成果指標 ( 2 )	4 人	54,000	60,000	77,000	80,000	101,000	90,000	126.3	
事業費	5 千円	319,297	366,958	366,386	351,080	349,169	392,027	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	14,600	16,686	17,884	16,636	19,337	16,742	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	333,897	383,644	384,270	367,716	368,506	408,769		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	8,056	12,000	16,045	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	8,056	12,000	16,045	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	325,841	371,644	368,225	367,716	368,506	408,769	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 073

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	管理運営 (指定管理者)	1	施設	326,176
	芸術監督報酬の支出	12	月	4,200
	運営懇談会開催	3	回	197
	施設管理	12	月	18,200
	その他 (地域協議会開催、芸術監督選考)			396
取組成果	<p>杉並芸術会館 (座・高円寺) の指定管理業務 (施設維持管理、芸術文化普及振興事業) については、新型コロナウイルス感染症が5類に分類されたことに伴い、積極的に事業を実施した結果、ホール利用率は78% (令和4年度比2ポイント増) に改善しました。区立小学生の演劇鑑賞教室 (参加者数3,403名) や演劇学校受講生の受入れ、区民や学識経験者等で構成される運営懇談会も計3回実施しました。また、令和5年7月には公募により新しい芸術監督が就任し、新体制のもと、特色を活かしたより質の高い舞台芸術を区民等に届けられるよう、連携・協力を図っています。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>【来館者数】平成21年度 (開館時) : 215,780人 令和2年度 : 80,974人 令和3年度 : 132,961人 令和4年度 : 177,212人 令和5年度 : 196,033人 年平均 (開館以降) : 約185,000人</p> <p>座・高円寺は、平成21年5月の開館以来、舞台芸術の創造と発信及び地域に根差した文化活動の拠点として運営しており、平成26年度に地域創造大賞を受賞するなど、高円寺四大祭りを中心に地域との連携を深め、まちのにぎわいや経済活性化にも寄与しています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>令和5年度の芸術文化普及振興事業は、新型コロナウイルス感染症が5類に分類され、積極的に事業を実施したことから、事業数は前年度比2%増の457回 (目標値比101%)、参加者数は前年度比31%増の101,000人 (目標値比126%) となり、コロナ禍以前に戻りました。</p> <p>区では、杉並芸術会館の運営について、文化・芸術振興審議会や杉並芸術会館の運営に関する懇談会等の意見を踏まえ、令和5年4月に「今後の運営の方向性」を定めました。芸術監督と共に、この方向性で示した取組を実現していくことで、公共劇場としての役割を果たしていくことが必要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>地域住民からなる座・高円寺地域協議会から「プログラムが固定化し新しい客層を取り入れられていない」との指摘があり、新たな取り組みとして、同会と連携して区役所1階で杉並芸術会館の周知を目的とした展示を行ったほか、広報やSNSでもPRを図りました。今後も、地域協議会や運営懇談会での意見を取り入れながら、優れた舞台芸術鑑賞の機会の提供及び多様な文化活動や交流が行える場の提供を通じて、身近な公共劇場としての役割を果たすよう努めます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和7年度末の指定管理期間満了に伴う次期指定管理者選定に向けて準備・検討を進めます。募集要項の作成に当たっては、令和5年4月に定めた「杉並芸術会館の今後の運営の方向性」に基づき、公共劇場としての役割を更に充実させていくよう努めていきます。</p> <p>また、昨年度就任した芸術監督の統括のもと、公共性や社会性を考慮しながら、時代の変化に応じた作品を提供するとともに、誰でも参加できる事業の充実と発展を図っていきます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>引き続き、芸術監督・指定管理者と協力・連携し、優れた舞台芸術の提供と発信及び区民の文化活動の拠点としての公共劇場の役割を果たしながら、芸術文化の振興を図っていきます。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00075 )

事務事業名称	杉並公会堂 ( P F I 事業 )				款	03	項	01	目	04	事業	001	整理番号	075	
現担当課名	文化・交流課		係名	文化振興担当係		連絡先電話番号	3782		昨年度整理番号	078					
上位施策No・施策名	27 多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進								予算事業区分	投資事業					
事業開始	平成18年度	実行計画事業	目標	08	施策	27	計画事業	01							
令和 5年度担当課名	文化・交流課								事業評価区分	施設維持管理					

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区民、文化・芸術団体	根拠法令等	( 1 ) ( 2 )	民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約書
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	区民への良質な文化芸術を鑑賞できる機会の提供などとともに、区民自らの文化・芸術活動を気軽に行える場とする。	活動指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	区民の文化・芸術活動を始めた多様な活動場所の提供と、杉並の文化の発信拠点となる杉並公会堂を民間の資金や能力を活用した P F I 手法により運営する。 公演など自主事業を行うほか、区民が気軽に利用できるように、ホールやスタジオ等の貸し出し事業を実施する。	指標説明	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度 対計画比 (%)	令和 5年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1								99.7
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	828,628	825,623	825,576	854,107	851,886	854,555	特記事項	
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	6 千円	8,677	8,343	8,983	8,318	4,353	8,371	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 ( 5+6+7 )	8 千円	837,305	833,966	834,559	862,425	856,239	862,926		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 ( 9+10+11 )	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 ( 8-12 )	13 千円	837,305	833,966	834,559	862,425	856,239	862,926	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 075

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	施設サービス購入	2	回	374,595
	維持管理・運営サービス購入	4	回	477,247
	その他 ( 事業者連絡会開催 )			44
取組成果	<p>杉並公会堂では区、日本フィルハーモニー交響楽団、PFI事業者による実行委員会方式の日本フィル杉並公会堂シリーズコンサート4回をはじめとする、計25回の自主公演を行いました。</p> <p>稼働率は大ホール80%、小ホール91%、グランサロン78%、スタジオ72%となり新型コロナウイルス感染症の流行以前の数値に回復しました。</p> <p>また、大規模修繕に伴う休館 ( 令和6年1月9日～8月31日 ) については、利用者への案内配布や広報すぎなみに休館中の対応を掲載するなど、PFI事業者と連携して周知し、計画どおり実施しました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>計画どおり令和6年8月まで舞台設備の入替を中心とする大規模修繕工事を実施しました。開館以来初めての長期休館となりましたが、休館期間中も施設予約抽選等を実施し、9月から施設利用を円滑に再開できました。</p> <p>利用再開時に合わせてオンライン施設予約や利用者登録制を開始するなど、更なる区民の利用促進を図るために、事業者と連携して運営方法の見直しを行いました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>引き続き、魅力的なプログラムを提供するとともに、区民等が利用しやすい施設環境を整えるよう、PFI事業者と協力して事業に取り組みます。</p> <p>また、今後も時代の変化や利用者のニーズに合わせた運営を行うため、オンライン施設予約の周知や、利用者アンケートの実施などにも取り組んでいきます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>区は、PFI事業を活用して約33年間 ( 平成15年～令和18年 ) に渡り、PFI杉並公会堂株式会社と「杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約」を締結しています。</p> <p>PFI事業導入により、区が設計・運営・維持管理を直接行う場合に比べ、一括して特定事業者に委ねることで、財政支出を抑制することができます。引き続きこの制度の安定的な運営を図っていきます。</p>	